

**熊本大学大学院・博士課程奨学金給付制度（KDS）の私費留学生枠への応募に際して  
研究業績等を点数化する方法について**

- 1) 選考にあたり、入学試験の成績、前年度1年間の学業成績及び学術研究活動を下記(1)のとおり  
に点数化して、提出物確認リスト（得点表）に各自計算のうえ記入すること。また(2)に示  
すように、同リストに他の奨学金等の収入状況を記載することとし、推薦順位の決定に際し  
ては収入額も参考にすることとする。

なお、申請書および添付資料の内容に虚偽の記載があった場合には、その学生については  
在学中の本奨学金の受給資格を、認めない場合があるので注意すること。

**【(1) 学業成績等】** 平成26年度1年間（平成26年10月1日～平成27年9月30日）のみを対  
象とする。 1年生については、前年度1年間の本学、他の大学あるいは研究機関等で上げた  
下記に該当する業績についても評価の対象とする。

- ① 研究内容の論文発表（筆頭著者には、equal contributors も含む）

英文雑誌・・・論文の採択通知日が、平成26年度1年間（平成26年10月1日～平成  
27年9月30日）の期間内に含まれる論文を業績評価（点数化）の対象  
とする。英文論文については、論文が掲載された学術雑誌の Journal  
Citation Reports による Impact Factor(IF)を加味して評価する。つま  
り IF に3を乗じた点数をもって評価する。なお論文の筆頭著者あるい  
は Corresponding author である場合には、この点数に1を、第二著者  
の場合は0.5を、それ以外の場合は0.1を乗じた数をもって評価する。  
IF が記載されていない学術雑誌については、IF を0.3と見なすものと  
する。

和文雑誌・・・当該雑誌の発刊日が、平成26年度1年間（平成26年10月1日～平成  
27年9月30日）の期間内に含まれる論文を業績評価（点数化）の対象  
とする。筆頭著者 1点、その他の著者0.1点とする。

**※外国人留学生が国際学術雑誌ではなく、主に母国内で発刊されている学術雑誌に発表した  
論文については、筆頭著者1点、その他の著者0.1点とする。ただし、英語で書かれたも  
のに限る。**

- ② 研究内容の学会発表

国際学会・・・(口演) 筆頭演者 5点、共同演者 0.5点

(ポスター) 筆頭演者 3点、共同演者 0.3点

国内学会（全国レベル）・・・(口演) 筆頭演者 2点、共同演者 0.2点

(ポスター) 筆頭演者 1点、共同演者 0.1点

国内学会（地方レベル）・・・(口演) 筆頭演者 1点、共同演者 0.1点

(ポスター) 筆頭演者 0.5点、共同演者 0.05点

アカデミア主催のセミナー

(国際レベル)・・・(口演) 筆頭演者 1.0 点、共同演者 0.1 点

(ポスター) 筆頭演者 0.5 点、共同演者 0.05 点

(国内レベル)・・・(口演) 筆頭演者 0.5 点、共同演者 0.05 点

(ポスター) 筆頭演者 0.25 点、共同演者 0.025 点

学会、会議等でのシンポジスト 国際レベル 8 点、国内レベル 4 点

※学会発表の合計得点は、10 点を上限とする。

※学位論文の研究に関する発表に限る。1 例報告のような少数の臨床症例報告に関する発表は含めない。

※外国人留学生在が母国内の学会、セミナー等で発表したものについては、(口演) 筆頭演者 1 点、共同演者 0.1 点、(ポスター) 筆頭演者 0.5 点、共同演者 0.05 点とする。ただし、英語で発表したものに限る。

③ 学会などからの論文発表および学会発表に対する表彰

国際学会 10 点、国内学会 (全国レベル) 5 点、国内学会 (地方レベル) 2 点

④ 専攻分野に関連した著書、データベース 筆頭者 2 点 共著者 0.2 点

⑤ その他の著作物 筆頭者のみ 1 点

⑥ 特許出願 (発明人) 3 点

⑦ 実用新案 3 点

⑧ 社会的貢献度の高い活動 (貢献内容を委員会で審議して点数化する)

⑨ 入学試験の成績 (1 年生のみ) (医学事務チーム教務担当で点数化する)

【(2) 他の奨学金等による収入】 応募者の推薦順位については、提出物確認リストに記載された収入額も考慮して、大学院教育委員会で原案を作成し、大学院医学教育部教授会に付議する。